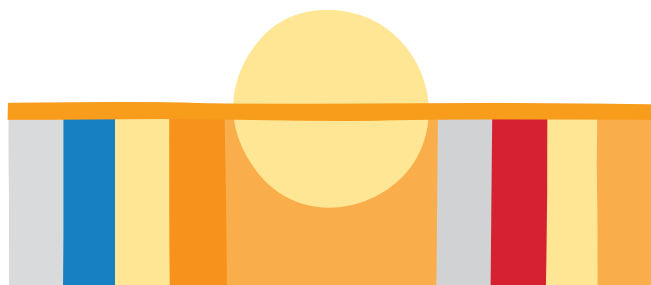


Maak kennis
met Nederland!

オランダを知ろう！ EXPO 2025 編



駐日オランダ王国大使館 広報・政治・文化部





目次



[大阪・関西万博 (EXPO 2025)]

オランダパビリオンに来てね! 2

1 オランダの国土 3

2 オランダの人と文化 6

3 オランダの政治 10

4 オランダの経済 12

5 オランダの歴史 15

6 オランダの暮らし 18

7 オランダの教育 23

企画・制作 / 駐日オランダ王国大使館

ウェブサイト: <https://www.orandatowatashi.nl/>

 <https://www.facebook.com/OrandainJapan/>  @OrandainJapan  @nlinjapan

オランダパビリオン特設サイト: <https://orandaexpo2025.nl/>  @NLexpo2025  @nlexpo2025

執筆・編集 / 山本直子 <https://www.yamantextfactory.com/>
デザイン / YUKA DESIGN www.yuka-design.com

オランダパビリオンに来てね!

建物の真ん中に浮かぶ大きな光る球体が印象的なオランダパビリオンは、「A New Dawn -新たな幕開け」と名付けられ、海から昇る太陽と、持続的に利用可能なクリーンエネルギーを表現しています。



パビリオン中央の球体は、1970年の大阪万博で建造された「太陽の塔」上部の「黄金の顔」とほぼ同じサイズに設計されています

COMMON
コモングラウンド

みんなの「コモングラウンド」

オランダパビリオンのテーマは、「コモングラウンド」。人々が集まり、共感し、互いに学びながら新しい価値をつくり出すための基盤です。国土の4分の1が海面よりも低いオランダでは、水と戦い、共存するために、さまざまな人々の視点を持ち寄り、協力して問題を解決してきた伝統があります。

気候変動や食料問題、高齢化社会など、世界が危機的な問題に直面する今こそ、さまざまな視点を取り入れながら、新しい解決策を見出すためのコモングラウンドが必要なのではないでしょうか。

パビリオン中心部の球体の中に足を踏み入れると、360度見渡せるスクリーンと共に、音と映像の没入体験が待ち受けます。インタラクティブな体験を通じて、新しいエネルギーへの転換の旅に出ましょう!



オランダパビリオンの内部。ファサードは新技術の根源となる「水」をモチーフとしたデザイン ©AND BV/Plomp



水面を表現する鏡面のような屋根は、リングの上から見下ろすと、空が反射して球体が浮いたように見えます。日本の国旗にも似ていますね! ©AND BV/Plomp

解体・再利用できるパビリオン



このパビリオンは、すべての部品を取り外し、再利用することができます。パビリオンを設計した建築家のトーマス・ラウさんは、このように建物を解体して、材料を使い回していく「サーキュラー建築」をつくってきました。限りある地球の資源を何度も循環させて使うという考えから生まれた建築です。現在、ほとんどの建物は古くなったら壊され、

新しい建物が新しい材料でつくられています。建物だけではなく、家具もスマホも自転車も、古くなれば捨て、新しいものを買うのが私たちの習慣になっています。しかし、それで本当に私たちの生活は続けられるのでしょうか? このパビリオンは、私たちにそんな問いを投げかけているのです。

オランダって
どんな国?



1 オランダの国土 De Ligging van Nederland

ヨーロッパの小さな国オランダ

オランダはヨーロッパの小さな国。面積は41,543km²で九州ほどの大きさです。オランダの北と西は北海に面していて、南はベルギー、東はドイツと国境を接しています。

オランダの12州

オランダには12の州があります。これは、日本の都道府県のようなものです。西にある北ホラント州と南ホラント州が有名で、アムステルダム、ロッテルダム、デンハーグといった大都市はこれらの州に位置しています。

いちばん大きな州はヘルダーラント州です。オランダの最南端にあるリンブルフ州にはベルギーとドイツとオランダの3国の国境が交わる場所があって、片足ずつ別の国に入ることでもできるんですよ！いちばん新しい州はフレボラント州。ここはゾイデル海の開発により新たに誕生した干拓土で、1986年にオランダの12番目の州になりました。



大都市は西に集中

オランダの首都はアムステルダムで、人口は約93万人（2024年）と、国内最大です。商業や文化の中心地で、国立美術館や「コンセルトヘボウ」という世界的に有名なコンサートホールもあります。次に大きいのはロッテルダムで、世界屈指の貿易港やモダンな建築群が有名です。3番目に大きい都市はデン・ハーグ。国会議事堂や首相官邸などがあり、政治の中心地となっています。



3国国境地点はオランダでいちばん高い地点に近い



©Yasonya/Shutterstock

17世紀のおもかげを残すアムステルダムの運河

海より低い国土、最高地点でも323m！

みなさんがオランダにもし来ることがあれば、海や川、運河や湖など、たくさんの水辺があることに驚くでしょう。オランダの国土は海拔よりも低い土地が多く、オランダ語の国名「ネーデルランド（Nederland）」は「低い土地」を意味しています。いちばん低い地点は海拔マイナス7メートルで、いちばん高い地点でも323メートルしかないんですよ！オランダを流れる大きな川は、ライン川とマース川です。ヨーロッパの山を源流とするこれらの川が海に流れ着くまでに、たくさんの支流が生まれ、これが「デルタ」と呼ばれる三角州を形作っています。

オランダの国土の大部分はデルタ地帯で平らな土地が多く、日本のような高い山や滝は見られません。野生動物はさほど多くはないですが、草原や森の中でキツネ、タヌキ、リス、イノシシなど比較的小さなほ乳類や、ガチョウ、白鳥などの水鳥が見られます。

冬はじめじめ、夏はカラリ

オランダは日本のように四季のある国です。北海は暖流なので、オランダの冬は雪の日や凍りつく日は少ないのですが、海からの風が強く、実際の気温よりも寒く感じられます。夏はからりと湿度が低く、20～25度ぐらいで過ごしやすい日が多いですが、近年は温暖化の影響で、気温が40度近くになる日も。



1



2



3



5

1.オランダの街には運河がいっぱい
2.ボートでパーティーを楽しむ人びと
3.風車は低地の水を運河に押し出すのに使われてきました
4.カヌーをこぐ子どもたち。牛がぬーっと「こんにちは！」
5.水辺のガチョウたち



オランダはオランダ人がつくった！

海抜より低い土地の多いオランダでは、人間が湖や泥地を埋め立てて国土をつくってきた歴史があります。そのため、「世界は神がつくったが、オランダはオランダ人がつくった」と言われています。

埋め立ての大規模なプロジェクトは16世紀ごろから始まりました。その代表例は北ホラント州にある「ベームスター(Beemster)」。17世紀のはじめまでは湖でしたが、そこを農地にするため、まず湖のまわりに高い堤防が築かれ、その周りに運河が掘られました。そして47基もの風車を使って湖の水をポンプで運河に押し出したのです。湖は干上がり、道路や水路や農場がつくられました。こうした干拓地は「ポルダー」と呼ばれています。現在は風車ではなく、電動のポンプステーションやコンピュータで水がコントロールされています。

1.湖を埋め立てたベームスターの干拓地
2.オランダの北西部に広がるチューリップ畑 3.4.ユトレヒトの街並み。運河沿いにカフェやお店が並んでいます



「東スヘルデ防潮水門」は、長さ9kmの巨大な水門式のダム

大洪水とデルタ計画

1953年1月31日から2月1日にかけての夜、オランダは大きな嵐にみまわれました。南西部の多くの堤防が壊れ、大洪水の中、1836人が亡くなり、オランダ人たちはあらためて、低い国土の弱点を思い知りました。

国の南西部沿岸を守るため、その後はダム、堤防、水門などをつくる大規模な「デルタ計画」が始まりました。スヘルデ東部地域の河口部はすべて水門などでふさがれました。



2 オランダの人と文化 Mensen en Cultuur in Nederland

人口の4分の1は外国生まれ

オランダの人口は約1800万人。毎年多くの移民を外国から受け入れており、外国生まれのオランダ住民は全体の約4分の1を占めます。首都アムステルダムでは、200カ国以上から来たさまざまな人種・国籍の人たちが住んでおり、街を歩くとオランダ語だけでなく、トルコ語やアラビア語、英語やヒンズー語なども聞こえてきます。オランダは古くから外国との貿易で栄えてきた国ということもあり、異文化に対してオープンで、英語が上手な人も大勢います。

オランダの色

オランダの国旗の色は赤、白、青の3色です。16世紀に最初につくられた国旗はオレンジ、白、青だったのですが、17世紀に今の色になりました。オレンジは、「オランダ建国の父」として知られるオラニエ公ウィレム(Prins Willem van Oranje)にちなんでいます。「オラニエ (Oranje)」はオランダ語で「オレンジ」を意味するので、これがオランダ王室のシンボルカラーになっているのです。毎年4月の「国王の日」やサッカーのワールドカップなどでオランダチームが出場する際に、オランダはオレンジ色に染まるんですよ！



1. オランダにはさまざまな人種・国籍の人が混ざっているよ！
2. オレンジ色の服を着てオランダチームを応援

言語

オランダの公用語はオランダ語です。北部のフリースラント州では、英語とスカンジナビア語に似たフリースラント語（フリジア語）も使われています。オランダ語は国内だけでなく、ベルギー北部やスリナム、カリブ海にあるアンティル諸島とアルバ島などでも話されていて、その人口は約2300万人に上ります。

宗教

伝統的なオランダ人の宗教はキリスト教ですが、多くの文化が混在するオランダでは、イスラム教や他の宗教を信仰する人たちも大勢います。各宗教の信者の割合は、キリスト教カトリック教会が20%、キリスト教プロテスタント教会が14%、イスラム教が5%、その他の宗教が5%。無宗教の人も55%と、近年は増えてきています。

オランダ語会話帳

おはよう…Goedemorgen (フデモルゲン)
こんにちは…Hallo (ハロー)
こんばんは…Goedenavond (フデアーボン)
さようなら…Dag (ダー)
またね…Tot ziens (トッツィーンズ)
1…Een (エーン)
2…Twee (トゥエー)
3…Drie (ドゥリー)
4…Vier (フィア)
5…Vijf (ファイフ)



世界一ノッポのオランダ人

オランダ人は世界一身長が高いことでも有名です。2020年時点で19歳の男性の平均身長は、182.9cm、同年齢の女性の平均は169.3cm。それでも、1980年頃にオランダで生まれた人をピークに、平均身長はだんだん小さくなっているとのこと。それは、移民が増えたことと関係しているのではないかとみられています。

19歳男性の平均身長

 182.9cm

 170.4cm

Hallo
(ハロー)

19歳女性の平均身長

169.3cm 

156.6cm 

サッカーは国民的スポーツ

オランダで人気のスポーツといえば、サッカー、アイススケート、ホッケー、自転車競技、水泳、ヨット、乗馬など。特にサッカーは国民的スポーツと言ってもいいほどの人気で、ワールドカップなどでオランダチームが出場する時には、道路には誰もいなくなるほどです。オランダのサッカートップリーグ「エールデビジ（Eredivisie）」では、アムステルダム「アヤックス」、アイントハーフェン「PSV」、ロッテルダムの「フェイエノールト」などのチームが有名。サッカー選手では、フィルジル・ファン・ダイクやメンフィス・デパイ、コーディ・ガクボなどが活躍しています。



サッカーのワールドカップで大フィーバー！

冬といえばアイススケート、11都市スケートマラソンも

水辺が多いオランダでは、アイススケートも大人気。多くの人がマイシューズを持っていて、寒い冬に運河や湖が凍ると、みんなスケート靴を持ってくり出します。まだスケートを滑れない小さな子どもは、イスを持ってきて、それにつかまりながら氷の上を歩いているんですよ！

オランダの北部フリースラント州では、運河や湖の表面に15cm以上の氷が張ると、「11都市スケートマラソン（Elfstedentocht）」が開催されます。これは同州11都市にまたがる200キロメートルの距離をスケートで滑る過酷なレースで、毎年、冬に零下の日が続くと、みんなこのイベントが開かれるのを期待してソワソワします。しかし、このところの温暖化でなかなか15cm以上の氷が張るほどの低気温が続かず、最後にこの大会が開かれたのは1997年のことです。



アザラシの人形につかまりながらスケートの練習

寒い冬もスケートができれば最高！みんな自分のスケート靴を持っているよ



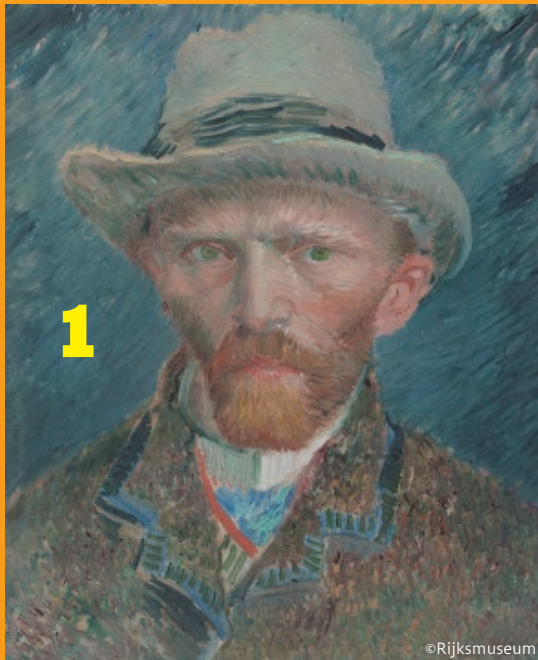
©Marc Venema/Shutterstock

レンブラント、ゴッホ、ダッチデザイン

オランダが貿易で栄え、世界的に影響を持っていた17世紀、芸術も「黄金時代」を迎えました。このころの有名な画家には、レンブラントやフェルメール、ヤン・ステーンなどがいます。当時は花や果物を描いた静物画や肖像画、そして日常の一コマなどがたくさん描かれました。また、写真がなかった当時、商人たちは記念撮影のような形で集団の絵を画家に描いてもらっていました。

黄金時代が終わっても、オランダの芸術文化は進化します。19～20世紀の代表的な芸術家としては、ヴァンゴッホやモンドリアン、カレル・アッペルなどが世界的に有名です。

オランダはさまざまなモノやサービスのデザインでも知られています。美しいだけではなく、シンプルかつ機能的で、楽しさが加わっているのが「ダッチデザイン」の特徴。オランダ南部の街アイントハーフェンでは、毎年10月に「ダッチ・デザイン・ウィーク」が開催されていて、世界中のデザイナーの注目を集めています。



何人知ってる？
オランダの
有名人





©Van Gogh Museum, Amsterdam
(Vincent van Gogh Stichting)

ゴッホ「ひまわり」



ミッフィーミュージアム

©Nijntje Museum



アンネが隠れていた部屋

©Anne Frank House/
Cris Toala Olivares



レンブラント「夜警」

©Rijksmuseum

1

ビンセント・ヴァンゴッホ Vincent van Gogh (1853 ~ 1890)

「ひまわり」や「自画像」などが有名な印象派の画家。大胆な色使いや絵の具をうねるように厚く重ねる筆づかいで、独自の表現をしました。オランダ、ベルギー、フランスで画家として活動しましたが、生きている間に売れた絵はわずか1枚と言われています。作品は彼の死後に世界的に評価され、現在はアムステルダムに「ゴッホ美術館」があります。

2

ディック・ブルーナ Dick Bruna (1927 ~ 2017)

絵本作家・グラフィックデザイナーとして世界的に活躍しました。1955年に発表した『ちいさなうさこちゃん (Nijntje)』が大人気となり、そのシリーズ絵本は50カ国以上で翻訳されています。うさぎの主人公「ナインチェ」は、外国では「ミッフィー」として知られていますね。彼が住んでいたコトレヒトには、「ミッフィー・ミュージアム」がありますよ！

3

ヨハネス・フェルメール Johannes Vermeer (1632 ~ 1675)

17世紀にデルフトで活動した画家。「真珠の耳飾りの少女」や「牛乳を注ぐ女」などが有名。オランダの当時の日常生活などを描きました。作品数は30数点と少なく、オランダのほか、ドイツ、イギリス、アメリカなどに点在しています。

4

アンネ・フランク Anne Frank (1929 ~ 1945)

『アンネの日記』の著者として知られるユダヤ系の女の子。第二次世界大戦中の1942年、ナチスドイツによる迫害から逃れるためにアムステルダムの家に隠れていましたが、2年後に見つかって強制収容所に送られ、そこで15年の短い生涯を閉じました。彼女が隠れ家で作っていた日記は、戦争を生き延びた父親によって戦後出版され、世界中の人々の胸を打ちました。アムステルダムの隠れ家は今も残っており、毎年何十万もの人々が訪れています。

5

レンブラント・ファンレイン Rembrandt van Rijn (1606 ~ 1669)

17世紀、オランダの「黄金時代」を代表する画家。ライデンの粉屋の息子として生まれ、後にアムステルダムで肖像画家として活躍しました。いちばん有名な「夜警」という作品は、アムステルダムの国立美術館に飾られています。市民隊が隊長の号令で出発する場面を描いたものです。

6

ヨハン・クライフ Johan Cruyff (1947 ~ 2016)

1970年代に活躍したオランダ出身のサッカー選手。攻撃も守備もする「トータルフットボール」を体現した選手として、世界的に評価されています。選手を引退した後は、「アヤックス」や「FCバルセロナ」の監督としても成功しました。

オランダはDJ天国

オランダでは音楽活動もさかんです。クラシック音楽では「ロイヤル・コンサートヘボウ・オーケストラ」が有名。ジャズも人気があり、毎年夏にロッテルダムで「ノース・シー・ジャズ・フェスティバル」が開かれています。

もちろん、ロックやポップ、ダンスミュージックも大人気！オランダはティエストやアーミン・ファンブーレン、マーティン・ギャリックスといった世界的に知られるDJを生み出した「DJ天国」でもあるんですよ！



©Melinda Nagy/Shutterstock

3 オランダの政治 De Nederlandse Politiek

国家元首は国王

オランダは国王または女王が国家元首です。現在はウィレム＝アレクサンダー国王がその地位に就いています。しかし、国のさまざまな取り決めは国民に選ばれた政府によってなされており、国王・女王は首相を任命したり、法律を施行するためのサインをしたりします。

9月の第3火曜日は「プリンセスダフ（Prinsjesdag）」といって国会が開会する日で、この日は国王が馬車に乗って国会議事堂に出かけ、その年の方針について演説をします。

次の国家元首はアマリア王女に

ウィレム＝アレクサンダー国王には、マキシマ王妃との間に3人の娘——アマリア王女（2003年生まれ）、アレクシア王女（2005）、アリアーネ王女（2007）——がいます。

長女のアマリア王女は、2021年12月にオランダの成人年齢である18歳となり、次の王位継承者としてオランダ国務院のメンバーになりました。オランダでは1983年以来、男女に関係なく、いちばん年上の子どもが王位を継ぐことになっています。



1. ウィレム＝アレクサンダー国王 2. 国王一家。左からアマリア王女、ウィレム＝アレクサンダー国王、マキシマ王妃、アレクシア王女、アリアーネ王女



1. 公園でビニールシートを広げて、家のガラタを売る人びと 2. オレンジ色のチョコレートでコーティングされたケーキ



「国王の日」はオレンジ色

オープンさを大切にするオランダでは、王室も国民に開かれています。毎年4月27日の「国王の日」には、王族が国内の1～2都市を訪問し、国民と親しく交流します。この日のオランダは、オレンジ色。街にはオレンジ色の旗がはためき、パン屋に並ぶケーキもオレンジ色にコーティングされ、街を歩く人たちもオレンジ色の服を着ています。全国の路上や公園は、フリーマーケットで大にぎわい。子供たちもいらなくなった本やおもちゃなどを売っています。古いもののリサイクルにもなりますね！

議会制民主主義

日本と同じように、オランダの国会は国民の選挙で選ばれた代表者から成り立っています。選挙は4年ごとに行われ、18歳以上の国民が参加できます。

オランダの国会は第1院（Eerste Kamer）と第2院（Tweede Kamer）に分かれており、それぞれの議席は75席と150席。第1院は各州から代表が選ばれる一方、第2院は国民から直接選ばれます。オランダには小さな政党がたくさんあって、議席の過半数を獲得するために、複数の政党が集まって連立政権を作っています。

オランダはEUのメンバー

第二次世界大戦の反省から、ヨーロッパでは1957年に域内の貿易を自由化するための欧州経済共同体（EEC）が設立されました。オランダはEECを立ち上げた6カ国のひとつです。1993年にはマーストリヒト条約により欧州共同体（EU）となり、加盟国も2013年には28カ国に拡大しました。しかし、2020年にはイギリスがはじめて離脱し、加盟国は27カ国となりました。

子どもと政治

オランダでは子供たちも政治に関心を持っています。総選挙が近づくと、各党のリーダーが子供向けのニュース番組などにも出演して、子供たちの質問に答えたり、クイズに挑戦したりします。

国会の第2院では毎年1回、小学生たちが議席に座って首相や大臣たちに直接質問できる日も設けられています。みんなのするどい質問に首相もたじろぎ……！

18歳未満の中高生には、模擬選挙も実施されています。参加校では専用のポストが設置され、大人の選挙と同じように、学生たちが投票用紙に書き込んで投票します。18歳で本当に選挙に参加する前の、いい予行演習になりますね。



EUの旗はヨーロッパのシンボル。星の数ははじめてから決まっていて、加盟国の数とは関係ありません



選挙前に見られる、いろいろな政党のポスター。どこに投票しよう？

4 オランダの経済 De Nederlandse Economie

貿易で栄えた小さな国

ヨーロッパ大陸の小さな国オランダは、外国との貿易で栄えてきました。オランダは、アメリカ、中国、ドイツといった大国に続いて、世界で4番目に大きい輸出国となっています（2022年）。

主な輸出品は、石油・石油製品、機械、果物・野菜など。輸出先はドイツ、ベルギー、フランス、イギリスなどヨーロッパが中心です。「モノ」のほかに「サービス」の輸出もさかんです。一方、輸入は石油、天然ガス、半導体チップ・部品、コンピュータ、衣類など。主な輸入元は、ドイツ、中国、ベルギー、アメリカ、イギリスです。



ヨーロッパ最大のロッテルダム港

オランダで貿易がさかんな理由のひとつは、場所にあります。北海とライン川、スヘルデ川、マース川の河口沿いに位置するため、モノの運ばんや移動にとっても便利なのです。

ロッテルダムには、大きな港があります。コンテナの取扱量はヨーロッパ最大。世界の中でも10位に入っています（2022年）。ここは石油化学工業もさかんで、たくさんの石油コンビナートも並んでいます。

1. ロッテルダム港に隣接する石油化学コンビナート 2. ロッテルダム港のコンテナ取扱量はヨーロッパで最大

スキポール空港にはエンターテインメントがいっぱい！

空の便では、アムステルダムのスキポール空港が有名です。空港を利用する人の数は、ヨーロッパ内ではロンドンのヒースロー空港、パリ＝シャルル・ド・ゴール空港に次ぐ第3位。KLMオランダ航空をはじめ、120の航空会社がこの空港を利用して、世界約300都市に向けて航空機が飛んでいます。広い空港内にはたくさんのショップやレストランのほか、美術館や図書館もあるんですよ！



1. ラウンジには子どもが遊べるスペースがいっぱい！ 2. 空港内の図書館。本を旅行に持っていてもOK 3. 空港内にはNEMO科学技術博物館も！

小さな国土でハイテク農業

オランダの国土は九州ぐらいですが、その平らな土地の約半分は農業や園芸、牧畜に使われています。農産物の輸出額ではアメリカ、ブラジルに次ぐ世界3位(2023年)。主に花や球根、肉、チーズ、じゃがいも、玉ねぎ、トマト、パプリカといった野菜、ビールなどを輸出しています。

オランダではコンピュータや機械を使ったモダンな農業がさかんで、小さな国土からたくさんの収穫物を得るための工夫をしています。



花の国オランダ

オランダといえば、チューリップ! 春先には北西部の広大な花畑がまるで虹のようになるほか、「キューケンホフ公園」という花の公園にはたくさんの観光客が集まります。花や球根はオランダの大事な商品でもあり、毎年100カ国以上の国々に輸出しています。その輸出額はなんと世界一。アールスメルにある花市場も世界一の規模を誇っています。

たくさんの花を生産しているオランダでは花の値段が安く、スーパーマーケットやガソリンスタンドでも花束が売られています。そのため、みんな家の中に日常的に花を飾ったり、気軽にプレゼントしたりしています。

1. 小さな土地を有効活用しているトマトのハウス栽培 2. 菊のハウス栽培。ロボットが大活躍 3. 酪農もエネルギーも環境問題が最大のテーマ 4. 野外マーケットの花屋さん。チューリップは冬でも10本500円 5. 南ホラント州に広がるカラフルなチューリップ畑



オランダの工業

オランダの主な工業製品は、石油・化学製品、機械、鉄鋼など。大きな港のある西部のロッテルダム、アムステルダム、南西部のテルネーゼン（Terneuzen）、北東部のデルフゼイル（Delfzijl）、河口に面したムールデイク（Moerdijk）のほか、内陸部では南部のアイントホーフェン（Eindhoven）、ヘレーン（Geleen）に工業地帯が広がっています。

科学技術の研究もさかんで、大学や企業が協力して新しい製品や技術を開発しています。小さな国ですが、最先端の医療機器や太陽光で走る自動車など、世界が注目するテクノロジーも生まれています。



1. 太陽光で発電しながら走る自動車 2. ASMLのクリーンルームではたらく人びと 3. 次世代の医療用テクノロジーに取り組むフィリップス 4. ビールのハイネケンは緑のラベルが目じるし

👑 オランダの有名企業

ハイネケン：オランダのビール会社。1873年にアムステルダムで始まり、今は世界中に工場を持っています。

KLMオランダ航空：1919年創業の世界でいちばん古い航空会社。

フィリップス：以前は電球を専門としていましたが、現在は医療機器と家庭用電化製品で国際的に有名です。

ASML：世界最大の半導体チップ製造装置メーカー。

ブッキングドットコム：ホテルや航空券などの予約ができるオンラインの旅行会社。

5 オランダの歴史

Geschiedenis van Nederland



最初の人類

オランダには30万年前から人が住んでいたとされています。それは発掘された石器から分かっています。オランダで発見されたいちばん古い人間の骨は、約7500年前のもの。このころのオランダ人は、イノシシや鳥などをとらえたり、木の実を集めたりして暮らしていました。7300年前ぐらいから、南部リンブルフ州の丘で農業や牧畜がおこなわれた形跡が見られます。東部のドレンテ州や北部フローニンゲン州には、5000年ぐらい前につくられた巨大な石の墓（Hunebed）も残っています。

1. 東部ドレンテ州に残っているオランダでいちばん大きな巨石の墓 2. 博物館「Hunebedcentrum」では古代の農民の暮らしが再現されています



ローマ人の進出

現在のイタリアに興ったローマ帝国は、イギリス北部からアフリカのサハラ砂漠までを支配する広大な帝国でした。紀元前57年には、ローマ人がオランダの南部にも移住し、寺院や公衆浴場などをつくったほか、オランダで最初の書き言葉となったラテン語が伝わりました。しかし、9世紀になると東のゲルマン軍が攻め入り、ローマ人たちはアルプス山脈の南側に追いやられます。

キリスト教の拡大とカール大帝

7～8世紀の間には、イギリスからキリスト教が北部フリースラント州に伝来します。オランダにはそれまで土着の宗教がありましたが、キリスト教はゲルマン系のフランク王国の保護を受けて広がり、8世紀にはオランダ北部の大部分の人がキリスト教に改宗しました。このころ、オランダを含む西ヨーロッパの広大な地域はフランク王国が支配していました。もっとも栄えていたのは、カール大帝のころ。彼は王国を群に分けてリーダーを配置し、各地を管理する体制を築きました。

古代ローマ人がリンブルフ州につくった公衆浴場の跡。更衣室もあるよ！



1579年に描かれたオラニエ公ウィレムの肖像

80年戦争、スペインからの独立

カール5世に続き、スペインのフェリペ2世がオランダを支配していましたが、当時、キリスト教のカトリックのあり方に抵抗するプロテスタントが増え始めると、フェリペ2世は彼らを弾圧し始めました。このためオランダ諸州は1568年、スペインに対する反乱を起こしました。1648年まで続いたこの戦争は、「80年戦争」と呼ばれています。このときオランダ側のリーダーとなったのが、有力貴族のオラニエ公ウィレムです。オランダの国歌「ウィルヘルムス (Wilhelmus)」も、この戦いの間、市民を勇気づけるために作られたんですよ！1588年にはオランダの7州から成る「ネーデルラント連邦共和国」がつくられ、現在のオランダ王国の原形となりました。

世界の海に乗り出した東インド会社

15～16世紀にかけて、ポルトガルやスペインにより世界の航路が発見されると、オランダも世界貿易に乗り出します。アジアやアフリカ、アメリカからの香辛料や砂糖、コーヒー、茶、陶器などが求められたからです。

しかし、当時の遠方への旅はたいへん危険で、お金もかかるものでした。そこで、オランダでは1602年、政府の主導で「東インド会社 (VOC)」が設立されました。世界一の貿易会社となったVOCは、南アフリカやインド、スリランカ、インドネシアに足を延ばし、江戸時代の日本にも到着しました。オランダは当時、鎖国状態にあった日本で唯一貿易を許されたヨーロッパの国として、長崎の「出島」に出入りしていました。

1621年には「西インド会社 (WIC)」も設立されました。大西洋やカリブ海での貿易でVOCのような独占的な地位を築こうとしましたが、他国との競争に敗れ、最後は奴隷貿易だけを行っていました。2つの貿易会社はその後、競争と腐敗と戦争によって、18世紀の終わりには衰えました。



©Shutterstock/Steve Photography



1.アムステルダム港に再現された東インド会社の船

2.東インド会社の貿易地帯の地図 (1665年)



江戸時代の日本人が描いたオランダ人

フランス時代に突入、ナポレオンの統治下に

17世紀に「黄金時代」を迎えたネーデルラント連邦共和国は、18世紀後半になると衰え始めます。このころになるとイギリスが台頭し、国内では「愛国者 (パトリオット)」という市民グループによる反乱がおこりました。パトリオットたちの反乱は連邦政府により押さえつけられましたが、その後ネーデルラント共和国は消滅し、パトリオットたちがフランスの助けをかりて「バタヴィア共和国」を樹立。しかし、この共和国もまもなく消滅し、オランダはフランスの皇帝ナポレオン・ボナパルトの統治下におかれます。

オランダは再び独立、そしてベルギーが分離独立

ナポレオンが1813年、ライプチヒの闘いに敗れて失脚すると、オランダは南ネーデルラントを合わせて「オランダ王国」として独立。ウィレム1世が初代国王となりました。

ウィレム1世はかつてのオランダの栄光を取り戻そうと、商工業の発展に力を入れましたが、国の南北の統合はうまくいかず、1830年には南部のベルギーが独立しました。

ウィレム1世の息子であるウィレム2世の時代には、オランダ憲法が改正され、国王の権限が削られる代わりに内閣や議会の権限が強まり、オランダの民主政治が始まりました。

第一次世界大戦

1914～1918年にかけて、第一次世界大戦が勃発。ドイツ、オーストリア＝ハンガリー、オスマン帝国、ブルガリア王国の「中央同盟国」とイギリス、フランス、ロシアの「協商国」による世界的な規模の戦争となりましたが、オランダは中立を貫き、戦火を免れました。しかし、多くの難民がベルギーから流れ込んできたほか、食料などの物資が不足し、失業も増え、少なからず戦争の影響を受けました。



©Shutterstock/Everett Collection

第二次世界大戦

第一次世界大戦に負けたドイツでは、経済危機の中、1933年に国家社会主義ドイツ労働者党（ナチス）の党首、アドルフ・ヒトラーが首相に就任しました。彼はドイツをヨーロッパで最も強い国にしようと、他国を侵攻し始めます。オランダは1940年にドイツに占領され、女王はイギリスに亡命しました。

ナチスドイツの統治下のオランダでは、10万人以上のユダヤ人が電車で詰め込まれて国外の強制収容所に送られ、そのほとんどが虐殺されました。アンネ・フランク（9ページ）もその1人です。また、1944～45年にかけての冬は大変厳しく、多くの人が餓死しました。

1944年、オランダ南部は連合軍により解放されましたが、北部は1945年5月までドイツの占領下にありました。毎年5月4日、アムステルダムでは戦争で亡くなった人を追悼するための式典が開かれ、みんなで夜8時に黙とうをささげます。そして、翌日の5月5日には、解放記念日を祝います。



©Nationaal Comité 4 en 5 mei, Jasper Juinen

インドネシアの独立

第二次世界大戦中、オランダの植民地だったインドネシアは、1942年に日本によって占領されました。オランダ人兵士はろう獄に入れられ、住民たちは恐ろしい収容所に送られ、過酷な日々を過ごしたのです。

1945年、アメリカによって日本の広島と長崎に原子爆弾が落とされると、日本は降伏し、アジアでの戦争は終わりました。

戦争前からインドネシアではオランダからの独立運動がさかんになっていましたが、戦争が終わると、オランダは再びインドネシアを支配し、独立運動を抑えようとした。この戦いでインドネシア側では10万人以上の人々が亡くなっています。最終的にインドネシアは、1949年に独立を勝ち取りました。



1.1940年5月14日、ドイツ軍によって爆撃された後のロッテルダム 2.毎年5月4日に行われる戦没者追悼記念式典 3.5月5日の解放記念日を祝う音楽隊。この日は各地で祭りが開かれます

6 オランダの暮らし Het Leven in Nederland



オランダは自転車大国。平らな専用道路をスイスイ！

自転車がいっぱい！専用の信号も

どこまでも平らな土地が続くオランダでは、自転車がみんなの主要な移動手段。毎日の通勤・通学、お買い物のほか、週末やバカンス、レジャーにも自転車が活躍しています。

オランダ人が持つ自転車の総数は2300万台と、人口1800万人を上回る数。1人あたり1.3台を持っていることになります。道路には自転車専用レーンや信号も付いています。全国に張り巡らされた自転車道の長さは総長3万7000キロメートル。北海道から沖縄までの長さが約2800キロメートルなので、その10倍強の長さが九州ほどの国土にギュッとつまっていることになります。

自転車の種類もいろいろあって、小さな子供が3～4人乗れる箱のついた「バックフィッツ (Bakfiets)」と呼ばれる自転車や、2人で自転車をこぐことのできるもの、あお向けになって寝転ぶような姿勢で乗るものなど、日本では見たことのないような自転車も見かけます。

最近は環境問題が大きくなってきているので、街の中心部はだんだん車が走れないところが増えてきています。オランダでは電車、バス、トラムなどの公共交通網も発達しています。



1



2

1.自転車専用の信号 2.バックフィッツには子どもが3～4人乗れます



1



2

1.アムステルダムでのトラム（路面電車） 2.オランダの電車は自転車といっしょにも乗れます

典型的な家、変わった家

オランダのいちばん典型的な家は、「ライチェスハウス（Rijthuis）」と呼ばれる長屋風の家です。いくつかの家がずらっと横に並んでいて、となり同士の壁はつながっています。それぞれの家には裏庭があり、隣の家の庭とは塀や垣根で区切られています。

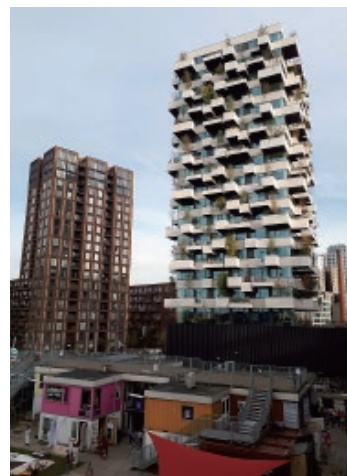
ほかにも、隣の家とは離れた一戸建ての家や、高層の集合住宅もあります。アムステルダムの運河沿いにあるような古い建物も、修理したり中身を改装したりしながら、今も住居として使われています。何百年も前の古い家は、「モニュメント」として政府によって大切に保護されていて、勝手に改装したりすることはできません。

オランダならではの変わった家としては、「ハウスボート（Woonboot）」が有名です。ボートといっても、ほとんどの場合は水上に固定されていて、普通の家のように電気も電話線も通っています。アムステルダムの運河沿いを歩くと、水上に浮かんでいる家が見られますよ！

ロッテルダムや南部のヘルモントという街には、「キューブハウス（kubuswoning）」があります。ピート・ブロムという建築家により1970年代に建てられた住宅で、サイコロが傾いたようなユニークな形の家ですが、中は3階建てで一般の人たちが住んでいます。ロッテルダムでは一軒がミュージアムになっていて、中を見学できます。



ロッテルダムのキューブハウス。中の広さは約100㎡



モダンな集合住宅

ハウスボート Woonboot



アムステルダムの運河に浮かぶハウスボート

アムステルダムの古い家。
屋根の形がさまざま



©Alexander Demyanenko/Shutterstock

ライチェスハウス Rijthuis



ライチェスハウスではご近所づきあいも大切

朝と昼は冷たい食事、学校ではサンドイッチのお弁当

オランダ人の朝と昼はとても簡単で、冷たい食事が一般的です。朝は食パンをチーズやハム、ジャムと一緒に食べたり、シリアルに牛乳やヨーグルトをかけて食べたり。お昼もサンドイッチが基本です。

温かいランチでは、「トスティ (Tosti)」という焼きサンドや、食パンの上にハムやチーズをのせ、いちばん上に目玉焼きをのせる「アウトスマイター (Uitsmijter)」などがあります。

一般的に学校の給食はなく、子供たちはサンドイッチや果物を持って登校します。子供たちに人気のサンドイッチは、マーガリンを塗ったパンに「ハーゲルスラグ (Hagelslag)」というチョコレートフレークをはさんだもの。まるでおやつみたいなお昼ですね！



ハーゲルスラグ
Hagelslag



スタンポット
Stampopot



エルテンスープ
Erwtensoep



ハーリング
Haring

夜の主食はジャガイモ中心

夕食の食卓に出るオランダの典型的な家庭料理といえば、「スタンポット (Stampopot)」。マッシュポテトにエンダイブやケールといった青野菜を混ぜたもので、これを茹でたり焼いたりしたソーセージと一緒に食べるのが一般的です。じゃがいも、玉ねぎ、にんじん、肉の煮込みをつぶした「ヒュッツポット (Hutspot)」やグリーンピースをネギ、肉、じゃがいもなどと煮込んだ「エルテンスープ (Erwtensoep)」もオランダの伝統料理です。

北海に面しているオランダでは、魚も人気。特に有名なのはニシンで、塩漬けにしたものを生でがぶつと丸ごとほおぼるのがオランダ式の食べ方です。

食事としてのスナック

フリッチェス Frietjes



©Robert Hoetink/
Shutterstock

大人にも子供にも大人気なのがフライドポテト。オランダ語では「フリッチェス (Frietjes)」と呼ばれています。スナックとしてだけでなく、ときにはランチや夕食としても食べられており、街を歩けばテイクアウトの専門店で列をなす人たちの姿が見られます。フリッチェスは、マヨネーズをたっぷりかけて食べるのがオランダ流。

フリッチェス
大好き!



クロケット Kroket



オランダでは「クロケット (Kroket)」と呼ばれるオランダ風コロッケや、ひき肉ソーセージを揚げた「フリカンデール (Frikandel)」というものも人気。こうしたスナックは、駅の中や中心街にある「スナックバー」で買えます。自動販売機もあるんですよ!

オランダならではのお菓子

ドロップ Drop



真っ黒なグミのような食感のキャンディ。甘草を原料としていて、独特の風味があります。砂糖やハチミツの入った甘いドロップのほか、塩の入った塩辛いものも。外国人にはなかなか慣れない味ですが、オランダ人には根強い人気があります。みなさんは食べてみたいですか?

ストロップワッフル Stroopwafel



2枚のうすいワッフルの間に甘いシロップをはさんだもので、10cmぐらいあるずっしりしたお菓子。コーヒークップの上にフタをするようにのせてから食べると、あったかく柔らかくなって美味しさが増します。

KAAS



1



1. ゴーダのチーズ娘。チーズ丸ごとで10kg以上!
2. 野外マーケットのチーズ屋さん

チーズはよりどりみどり

オランダといえばチーズ! 酪農大国だけあって、スーパーマーケットでもチーズコーナーは大きく、いろんな種類のチーズが見られます。熟成期間の短い「ヤングチーズ」、長期間熟成させた「オールドチーズ」、季節限定のチーズ、ヤギのチーズ、スパイス入りチーズなどなど。専門店や野外で開かれるマーケットでは、チーズの味見をさせてもらえます! オランダ中部のゴーダと、北部のアルクマールでは春夏の期間、昔ながらのチーズマーケットが開かれています。



主な行事

●**シンタクラス**：毎年11月、オランダが寒くて暗い季節に突入するころ、「シンタクラス（Sinterklaas）」がやってきます。白髪と白いヒゲの聖人で、スペインからおとものピートたちと一緒に蒸気船に乗ってやってきます。そして12月5日の夜、子供たちが靴を暖炉のそばに置いておくと、次の朝にはプレゼントが！オランダの子供たちがいちばん楽しみにしている大イベントなのです。

●**クリスマス**：シンタクラスのお祝いが終わったら、今度はクリスマス。オランダの家庭ではクリスマスツリーやランプが飾られます。サンタクロースは来ないけれど、12月25日と26日は家族が集まって、美味しいものを食べたりプレゼントを交換したりします。

●**大みそか**：12月31日は家族や友人が集まって、1年の終わりと新しい年の始まりを祝います。このときみんなで食べるのは、「オリボールン（Oliebollen）」と呼ばれる丸いドーナツ。レーズンやリング入りのものもあり、粉砂糖をたっぷりかけて食べます。この夜は一般の人たちが花火を上げてもいいことになっていて、0時になると一斉に花火が打ち上げられて、とてもにぎやかです。

●**カーニバル**：オランダ南部でさかんなキリスト教カトリックのお祭り。街中でパレードが開催され、みんな仮装して盛り上がります。

●**イースター**：キリスト教の復活祭。復活のシンボルである「卵」がきれいに絵付けされ、食卓に上がります。子供たちは家の中や庭にかくされた卵型のチョコレートを探したりもします。

●**国王誕生日**：4月27日、ウィレム＝アレクサンダー国王陛下の誕生日（10ページの「オランダの政治」参照）

1.愛馬に乗ってパレードするシンタクラス 2.大みそかが近づくに現れるオリボールンの出店 3.イースターの日に食べる卵型のチョコレート 4.カラフルなカーニバルのパレード



とても
ヘゼリフね

休暇はキャンプが人気、何もしないでリラックス

オランダ人はバカンスが大好き。特に、夏休みなどは家族でキャンプに出かける人が多く、オランダ国内には2000カ所以上のキャンプ場があるんですよ！キャンプ場などでオランダ人がやることとったら、「ニクセン（Niksen＝オランダ語で何もしない）」。芝生に寝そべて1日中日光浴を楽しんでいる人が大勢います。

オランダ人が大切にしている「ヘゼリフハイト」

オランダ人が暮らしの中でとても大切にしている雰囲気「ヘゼリフハイト（Gezelligheid）」といいます。それは、和やかで心地よくて、あたたかい感じ。たとえば、カフェテラスで太陽を浴びながらだれかとコーヒーを飲むのは「ヘゼリフ」。帰りに「今日はとてもヘゼリフだったわ！」「言うのは、オランダ人にとって最高のほめ言葉なのです。」

7 オランダの教育 Onderwijs in Nederland

世界一幸せな子供たち

オランダは「子供が世界一幸福な国」として知られています。先進38ヶ国の子どもたちを対象に調査した、ユニセフ（国際連合児童基金）の「子どもの幸福度ランキング」で、これまで3回（2007年、2013年、2020年）1位になったからです。調査は心の幸福度、身体の健康、そして生きるために必要な学力などを測ったもので、オランダは3つの項目全てで上位にランクイン。特に「自分は幸せだ」と感じている子どもがたくさんいることが注目されています。



Monkey Business Images/Shutterstock



学校は自分で選ぶ！時間割なしの小学校も

オランダの義務教育は5歳から18歳までです。小学校は8年間で、4歳から通い始めることができます。日本のように4月にみんなが入学するスタイルではなくて、4歳の誕生日を迎えたら、その次の日から小学校に通い始めます。新学期のスタートは9月です。入学する時期がばらばらなので、もう1年同じ学年にとどまる子どももたくさんいて、クラスの生徒たちの年齢はまちまちです。

オランダでは住んでいるところで学校が決まる制度ではなくて、家の近所にある学校から自分の好きな学校を選ぶようになっています。2～3学年が1クラスに一緒にいる学校や、時間割がなくて自分で1週間の計画を立てる学校など、いろんな教育方法の学校があるんですよ！

1.ある公立小学校の教室。日本の学校とちがいますね！
2.木の実を使って作品をつくる授業
3.外遊びから教室にもどる子どもたち



1



2



3



4

宿題なしの小学校

小学校では国語、算数、理科、社会、体育、図画工作などの時間があります。理科・社会・図画工作を全部まぜて教える学校も多く、例えば、「世界の動物」というテーマで、動物のことで世界の地図をいっしょに勉強したり、「秋」というテーマで木の葉や落ち葉をひろって観察したり、絵を描いたりします。

5～6人のグループで学習することも多く、日本の学校のように先生に向かってみんなが席に並んでいない学校もたくさんあります。

ときどき学力テストもありますが、「読み」「書き」「計算」だけで、理科や社会などのテストはありません。そして、ほとんどの小学校で宿題はゼロ！夏休みは6週間ありますが、そのときも宿題は出ません。うらやましいですね！

人気の習い事

オランダの小学校は、毎日だいたい午後2～3時の間に終わります。そして、水曜日は半日だけの学校がほとんどです。宿題もないし、テスト勉強もないし、放課後たっぷりある時間は、友達と遊んだり習い事やスポーツクラブに行ったり、自分の好きなことをして過ごします。

人気の習い事は、サッカーやホッケー、テニス、柔道、乗馬といったスポーツや、ピアノ、バイオリン、絵画、演劇、ダンスなど。水泳教室はほとんどの子どもが通います。

水泳は必須！

オランダの学校にはプールがありません。屋外で泳げるほど暑い日は少ないからです。しかし、国土の多くが海面より低く、いたるところに水辺のあるオランダでは、みんなが泳げるようになることは、とても大切なことです。そのため、オランダのほとんどの子供たちは「ディプロマ (Diploma)」と呼ばれる合格証書を得るまで水泳教室に通います。

水泳教室では、プールや海で泳げるようになることを学ぶ以外に、事故で水に落ちてしまったときのために、服を着たまま泳いだり、助けが来るまで水に浮いたりすることも学びます。水を含んで重くなった服を着ながら泳げるようになるのは、とっさのときに役に立つ、サバイバル術なのです。

1.「家」をテーマにした学習の教材 2.乗馬は女の子に大人気 3.バイオリンとチェロの合奏会 4.水泳のディプロマはA、B、Cとレベルアップ



1. 放課後、小学生の遊ぶ時間はたっぷり！ 2. 中学・高校生活は一気に勉強量が増えます

12歳で進路を考える

小学校の最終学年には全国共通テストがあり、その結果を見ながら中学・高校の進路が決まります。オランダでは中学・高校が一体となっていて、レベルによって4・5・6年と長さがちがいます。4年コースは「職業訓練コース」。卒業後は直接仕事に結びつくことを学ぶ専門学校に進みます。5・6年コースは、「大学進学コース」。卒業後は高度な技術を学ぶ「実務専門大学」か、研究を中心にした「研究大学」に進みます。

オランダの研究大学はレベルが高く、卒業できる人はほんの少し。「勉強が得意・好き」という人たちが進むところで、みんながそこを卒業するべきだという考えはありません。また、12歳でいったん進路は分かれますが、その後は成績や希望によって、コースを変更することもできます。

宿題とテストがはじまる中学・高校

楽しい小学校生活を送った後、中学・高校ではテスト勉強や宿題がはじまります。教科も国語、数学、地理、歴史、生物、物理、化学、英語、フランス語、ドイツ語、体育、音楽……と多くなり、勉強は一気に大変になります。大学進学コースの一部で「ギムナジウム」に通う子どもたちは、ギリシャ語やラテン語も習うんですよ！



ある小学生の1日

7:00 起床・朝食
8:30 登校
8:30 ~ 10:30 学習（自分の時間割に沿って）
10:30 ~ 11:00 休憩・外遊び
11:00 ~ 12:00 学習
12:00 ~ 12:20 読書
12:20 ~ 13:00 ランチ・外遊び
13:00 ~ 14:00 学習・工作
14:00 ~ 14:15 片付け
14:15 下校
14:30 ~ 17:00 友達と遊ぶ
18:00 夕食
19:00 ピアノ練習・リラックス・シャワー
21:00 就寝



ある高校生の1日

6:45 起床・朝食
7:30 メイクアップ、着替え
8:00 自転車で家を出る
8:30 ~ 9:20 英語
9:20 ~ 10:10 国語
10:10 ~ 11:00 社会
11:00 ~ 12:10 地理
12:10 ~ 13:00 数学
13:00 ~ 13:30 ランチ
13:30 ~ 14:20 自習時間（宿題）
14:20 ~ 15:10 授業なし
15:10 ~ 16:00 フランス語
16:00 ~ 16:50 スペイン語
16:50 下校
17:00 ~ 18:45 リラックス（スナック・スマホ）
18:45 夕食
19:30 宿題・勉強
21:00 リラックス・入浴・スキンケア
22:15 スマホ・読書
23:15 就寝